

雨水放流許可申請書の作成方法

1 雨水放流許可申請書（様式第8号）

- ・ 申請者 申請者の住所、会社名、氏名、電話番号を記入
- ・ 事業場の名称 例：〇〇〇〇株式会社 〇〇店
- ・ 事業場の所在地 所在地の住所
- ・ 雨水放流面積 例：〇〇. 〇〇m²
(雨水放流する面積の計算は、縦×横は生値で計算し、雨水放流面積（平方メートル）は小数点以下第2位までとする。（小数点以下第3位を四捨五入）)
- ・ 雨水放流の理由 申請理由を記入してください。
例：自動式車両洗浄施設を屋外設置し、車両洗浄に使用した排水を下水道に流しますが、屋根の設置が困難であり雨水が流入するため。

2 添付書類

(1) 雨水放流面積図（様式第9号）

雨水放流区域を赤色で囲い、面積は縦×横は生値で計算し、雨水放流面積（平方メートル）は小数点以下第2位までとする。（小数点以下第3位を四捨五入）

(2) 雨水放流面積図

「(1)雨水放流面積図」とは別に、雨水放流面積の確認ができる建築図面等

(3) 位置図

住宅地図等に申請場所を朱書きで記入。

(4) 下水道本管台帳

申請場所を朱書きで記入。

(5) 建築設計図

雨水放流面積外からの雨水が流入させない縁切りの施工方法が確認できる図面。

「(2)雨水放流面積図」と「(5)建築設計図」が同一の図面であれば一部で可。

(6) 排水設備図面

- ① 排水設備工事設計書 審査受付前のもの。
- ② 建物配置図、各階平面図等 排水設備工事設計書がない場合は、下水道本管状況及び各設備の位置等が確認できる図面を添付。

(7) その他

- ① ガソリンスタンド等で、阻集器を設置する場合は阻集器の図面
- ② 上記の場合、阻集器に流入する水量の計算書

3 提出部数

2部

4 委任状

申請者以外の第三者が手続きを行う場合 委任状 1部提出

5 注意事項

自動式車両洗浄施設等の特定施設の場合は、雨水放流許可の申請とは別に、水質管理課に特定施設設置の届出が必要。